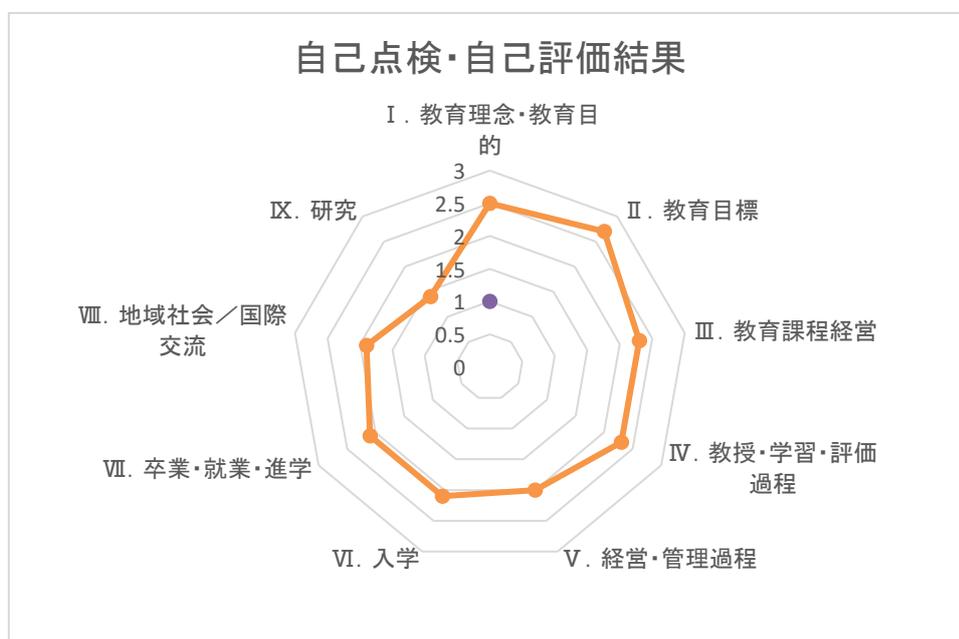


教育活動等に関する自己点検・自己評価

実施日 令和7年3月

対象 教職員(27名) 回収(26名) 回収率(96%)

カテゴリー	評価結果
I. 教育理念・教育目的	2.5
II. 教育目標	2.7
III. 教育課程経営	2.3
IV. 教授・学習・評価過程	2.3
V. 経営・管理過程	2.0
VI. 入学	2.1
VII. 卒業・就業・進学	2.1
VIII. 地域社会／国際交流	1.9
IX. 研究	1.4



教育活動等に関する自己点検・自己評価

実施日 令和7年3月

対象 教職員(27名) 回収(26名) 回収率(96%)

評価項目	評価内容	平均
I. 教育理念・教育目的	教育理念・教育目的は、養成する看護師等の質を保证するための教育内容・教育方法を述べている。また、学生の学習の指針になっている。	2.5
II. 教育目標	教育理念や教育目的と一貫性があり、設定した教育内容を網羅し、具体的で実現可能なものとなっている。	2.7
III. 教育課程経営 1. 教育課程経営者の活動	教職員全体は、教育課程と授業実践、教育評価との関連性を明確に理解し、教育理念・教育目的の達成に向けて一貫した活動を行なっている。	2.1
2. 教育課程編成の考え方とその具体的な構成	看護学の内容及び学習の到達について明確な考え方と根拠をもって教育課程を編成している。また、学生の成長について明確な考え方と根拠をもって教育課程を編成している。	2.4
3. 科目、単元構成	科目と単元は、明確な考え方と根拠をもって構成しており、教育理念・目的、教育目標と整合性があるまた、構成した科目は養成所の特徴をあらわしている。	2.5
4. 教育計画	単位履修の方法は学生の単位履修を支援するものとなっており、方法とその制約について教師・学生の双方がわかるように明示している。また、看護師等になるための学修の質を維持できるように、科目の配列をしている。	2.4
5. 教育課程評価の体系	単位認定の基準・方法は妥当であり、教育課程を評価する体系を整えている。また、他の高等教育機関と単位互換が可能な体制を整えている。	2.2
6. 教員の教育・研究活動の充実	教員が授業準備のための時間をとれる体制及び自己研鑽のシステムを整えている。	1.8
7. 学生の看護実践体験の保障	臨地実習施設は、養成所の個別の教育理念・教育目的、教育目標を理解し、看護実践の学習を支援する体制を整えている。 臨地実習指導者と教員の役割を明確にしている。 臨地実習において学生が関係する事故を把握、分析している。	2.4
IV. 教授・学習・評価過程 1. 授業内容と教育課程との一貫性 看護学としての妥当性 授業内容間の関連と発展	授業内容は、教育課程との一貫性があり、授業内容のまともは、看護学の教育内容として妥当性がある。	2.2
2. 授業の展開過程	授業内容に応じて授業形態を選択し、学生に対し効果的な教育・指導を行っている。また、教員間の協力体制を明確にしている。	2.3
3. 目標達成の評価とフィードバック	教育目標の達成状況を多面的に把握している。また、学生に単位認定のための評価基準と方法を公表している。	2.3
4. 学習への動機づけと支援	シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体としての一貫性があり、学生の学習への動機づけと支援になっている。	2.4
V. 経営・管理過程 1. 設置者の意志・指針	管理者は教育理念・教育目的・教育課程経営についての考え方を明示している。管理者は養成所の管理運営等についての考え方を明示している。	2.1
2. 組織体制	組織体制は、教育理念・目的を達成するための権限や役割機能が明確になっている。また、意思決定システムが明確になっている。	1.9
3. 財政基盤	財政基盤を確保することについての考え方が明確である。 教職員は、養成所がどのような財政基盤によって成り立っているかを理解している。	1.9
4. 施設設備の整備	管理者の考え方に基いて整備計画を立案し、実施している。 看護の専門職教育に必要な施設設備を計画的に整備している。	1.9
5. 学生生活の支援	学生が活用しやすいように学生生活の支援体制を整えている。	2.2
6. 養成所に関する情報提供	関係者(保護者等)への情報提供は関係者から協力・支援を得ることにつながっている。また、看護師等を養成する機関としての存在を、十分にアピールする広報活動を適切に行っている。	2.1
7. 養成所の運営計画と将来構想	養成所は明確な将来構想のもとに、運営の中・長期計画、短期計画、年間計画を立案し、実施・評価している。	1.9
8. 自己点検・自己評価体制	自己点検・自己評価体制を整え、運用している。 自己点検・自己評価体制は、養成所の教育理念・教育目的、教育目標の維持・改善につながるように機能している。	2.1

評価項目	評価内容	平均
VI. 入学	自己点検・自己評価体制は、養成所の教育理念・教育目的、教育目標の維持・改善につながるように機能している。 入学者状況、入学者の推移について、入学者選抜方法の妥当性及び教育効果の視点から分析し、検証している。	2.1
VII. 卒業・就業・進学	卒業時の到達状況及び卒業生の就業・進学状況を分析している。 卒業生の活動状況を把握し、統計的に整理している。また、分析結果を、教育理念・教育目的、教育目標、授業の展開に活用している。	2.1
VIII. 地域社会／国際交流	看護教育活動を通して地域社会への貢献を組織的に行っている。	2.0
1. 地域社会	養成所から地域社会へ情報を発信する手段をもっている。 養成所が設置されている地域の特徴を把握している。	
2. 国際交流	国際的視野を広げるための授業科目を設定している。 海外からの帰国学生や留学生の受け入れ体制を整えている。	1.9
IX. 研究	教員の研究活動を保障(時間的、財政的、環境的)及び活動を助言・検討する体制を整えている。 研究に価値をおき、研究活動を教員相互で支援し合う文化的素地が養成所内にある。	1.4